



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月8日

上場会社名 日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3645 URL http://www.japan-medico.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平川 大  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部ゼネラルマネージャー (氏名)三宅 大祐 (TEL) (03)5790-5261  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	620	20.2	71	20.3	71	19.8	36	17.2
25年5月期第2四半期	516	△1.6	59	△40.0	60	△39.2	30	△45.1

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 36百万円(17.3%) 25年5月期第2四半期 31百万円(△44.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年5月期第2四半期	6	73	6	73
25年5月期第2四半期	6	02	5	75

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	1,593	72.9	1,182	72.9		
25年5月期	1,551	72.9	1,151	72.9		

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 1,162百万円 25年5月期 1,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年5月期	—	0.00	—	1.00	1.00	0.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,298	11.6	124	6.3	124	4.0	63	1.0	11	87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) 26年5月期2Q 5,386,500 25年5月期 5,386,500

② 期末自己株式数 26年5月期2Q 34 25年5月期 34

③ 期中平均株式数 (四半期累計) 26年5月期2Q 5,386,466 25年5月期2Q 5,136,234

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成26年1月15日に機関投資家・アナリスト向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する第2四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済対策や日銀による金融緩和策への期待感から、円安や株価の回復が進み、昨年末以来、景気回復の傾向が続いておりました。しかしながら、雇用・所得環境や消費マインドの持ち直しへの期待が高まっているものの、景気回復の実感には至っておらず、海外景気の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明な状態が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、当社グループが運営するポータルサイトの充実とともに、保証事業、医療BtoB事業、人材キャリア事業等の新規事業の拡大に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は620,535千円（前年同四半期比20.2%増）、営業利益は71,215千円（前年同四半期比20.3%増）、経常利益は71,944千円（前年同四半期比19.8%増）、四半期純利益は36,253千円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① ポータルサイト運営事業

ポータルサイト運営事業においては、歯科分野及び美容・エステ分野を中心に「インプラントネット」、「エステ・人気ランキング」等のポータルサイトを運営しております。

当第2四半期連結累計期間においては、各運営サイトの認知度向上を図ると共にスマートフォンサイトや都道府県別の特集等の広告枠の追加を通じて、販売拡大に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は308,452千円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益は196,023千円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

#### ② SEM事業

SEM事業においては、当社ポータルサイトのクライアントを中心に積極的にSEOサービス及びリスティング広告（検索連動広告）運用代行サービスの販売に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は136,801千円（前年同四半期比7.7%減）、セグメント利益は2,853千円（前年同四半期比69.3%減）となりました。

#### ③ 保証事業

保証事業においては、連結子会社の株式会社ガイドデントを通じて、歯科自由診療を行う歯科医院のうち、当社グループが定める基準を満たした歯科医院（認定会員）に対して、治療前に登録した治療に関して治療後に再治療が発生した際の費用を保証するサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、認定会員や保証件数の拡大に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,839千円（前年同四半期比24.2%増）、セグメント損失は11,620千円（前年同四半期は、セグメント損失9,910千円）となりました。

④ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、連結子会社のブランネットワークス株式会社を通じて、歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐポータルサイトの運営を中心にリサーチ、コンベンションの運営受託、広告ソリューションの提供及びMR（製薬会社の医薬情報担当者）向けの高級弁当販売のプラットフォームを弁当製造販売業者へ提供する等、様々なサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、基盤となる会員数の増加や営業力強化に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48,990千円、セグメント損失は2,370千円となりました。なお、医療BtoB事業は、前連結会計年度の第2四半期より連結の対象としているため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

⑤ その他

その他の事業においては、事業者向けホームページ制作・メンテナンス、販売代理、人材キャリア事業等を展開しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は105,009千円（前年同四半期比43.1%増）、セグメント利益は1,448千円（前年同四半期は、セグメント損失5,745千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,593,916千円となり、前連結会計年度末に比べ42,753千円（前連結会計年度末比2.8%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

1 資産の部

(流動資産)

流動資産は、主に売掛金が増加したことにより1,381,172千円となり、前連結会計年度末に比べ54,898千円（前連結会計年度末比4.1%増）の増加となりました。

(固定資産)

固定資産は、主にソフトウェアの減価償却及びのれんの償却により、無形固定資産が減少したため、212,744千円となり、前連結会計年度末に比べ12,145千円（前連結会計年度末比5.4%減）の減少となりました。

2 負債の部

(流動負債)

流動負債は、インプラント保証件数増加に伴う前受金の増加により、403,042千円となり、前連結会計年度末に比べ11,647千円（前連結会計年度末比3.0%増）の増加となりました。

(固定負債)

固定負債は、保証件数の増加に伴うインプラント保証の支出に備える引当金の増加により、8,051千円となり、前連結会計年度末に比べ100千円（前連結会計年度末比1.3%増）の増加となりました。

3 純資産の部

純資産は、剰余金の配当を行った一方、四半期純利益を計上したことにより1,182,821千円となり、前連結会計年度末に比べ31,005千円（前連結会計年度末比2.7%増）の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ77,709千円減少し、756,300千円（対前連結会計年度末比9.3%減）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は30,546千円（前年同四半期は56,473千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上に対し、法人税等の支払、売上債権の増加等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は103,100千円（前年同四半期は69,662千円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券を取得したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5,155千円（前年同四半期は9,673千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年7月12日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	934,009	856,340
売掛金	170,039	221,309
前払費用	170,421	164,541
その他	62,220	148,636
貸倒引当金	△10,417	△9,656
流動資産合計	1,326,273	1,381,172
固定資産		
有形固定資産	14,185	13,039
無形固定資産		
のれん	134,854	131,287
その他	28,548	20,719
無形固定資産合計	163,402	152,006
投資その他の資産		
その他	57,933	59,867
貸倒引当金	△10,633	△12,169
投資その他の資産合計	47,300	47,698
固定資産合計	224,889	212,744
資産合計	1,551,162	1,593,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,166	19,076
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	36,695	36,677
前受金	217,198	233,806
その他	100,334	103,482
流動負債合計	391,395	403,042
固定負債		
インプラント保証引当金	7,951	8,051
固定負債合計	7,951	8,051
負債合計	399,346	411,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	261,034	261,034
利益剰余金	583,726	614,593
自己株式	△34	△34
株主資本合計	1,130,761	1,161,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	712	1,127
その他の包括利益累計額合計	712	1,127
少数株主持分	20,342	20,066
純資産合計	1,151,816	1,182,821
負債純資産合計	1,551,162	1,593,916

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	516,251	620,535
売上原価	249,875	297,909
売上総利益	266,375	322,626
販売費及び一般管理費	207,182	251,410
営業利益	59,193	71,215
営業外収益		
受取利息	225	492
その他	618	505
営業外収益合計	844	997
営業外費用		
社債利息	—	250
固定資産除却損	—	19
営業外費用合計	—	269
経常利益	60,037	71,944
特別損失		
投資有価証券売却損	—	590
特別損失合計	—	590
税金等調整前四半期純利益	60,037	71,354
法人税、住民税及び事業税	31,018	34,976
法人税等調整額	△1,914	400
法人税等合計	29,104	35,377
少数株主損益調整前四半期純利益	30,933	35,976
少数株主損失(△)	—	△276
四半期純利益	30,933	36,253

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,933	35,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	415
その他の包括利益合計	97	415
四半期包括利益	31,030	36,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,030	36,668
少数株主に係る四半期包括利益	—	△276

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	60,037	71,354
減価償却費	11,342	10,188
のれん償却額	1,836	3,567
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,062	775
インプラント保証引当金の増減額(△は減少)	452	100
受取利息及び受取配当金	△225	△492
支払利息	—	250
投資有価証券売却損益(△は益)	—	590
売上債権の増減額(△は増加)	△37,659	△52,806
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32	△470
仕入債務の増減額(△は減少)	787	△8,090
その他	14,992	40,462
小計	52,595	65,428
利息及び配当金の受取額	225	162
本社移転費用の支出	△3,015	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	6,668	△35,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,473	30,546
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100,192
定期預金の払戻による収入	—	100,151
有形固定資産の取得による支出	△16,252	△1,090
無形固定資産の取得による支出	△3,032	△1,945
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△47,122	—
その他	△3,255	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,662	△103,100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	265	—
配当金の支払額	△9,938	△5,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,673	△5,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,862	△77,709
現金及び現金同等物の期首残高	750,200	834,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	727,337	756,300

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	276,764	148,229	18,303	—	443,298	72,952	516,251
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	91	—	91	450	541
計	276,764	148,229	18,394	—	443,389	73,402	516,792
セグメント利益 又は損失(△)	176,620	9,290	△9,910	—	176,001	△5,745	170,255

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業及び人材キャリア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	176,001
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△5,745
全社費用(注1)	△112,410
その他の調整額(注2)	1,347
四半期連結損益計算書の営業利益	59,193

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

医療BtoB事業において、株式取得によりブランネットワークス株式会社を新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、69,218千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ポータルサイト 運営事業	SEM事業	保証事業	医療BtoB事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	308,452	136,801	22,839	48,581	516,674	103,860	620,535
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	408	408	1,148	1,557
計	308,452	136,801	22,839	48,990	517,083	105,009	622,092
セグメント利益 又は損失(△)	196,023	2,853	△11,620	△2,370	184,886	1,448	186,334

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業、販売代理事業及び人材キャリア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	184,886
「その他」の区分の利益又は損失(△)	1,448
全社費用(注1)	△120,531
その他の調整額(注2)	5,412
四半期連結損益計算書の営業利益	71,215

(注)1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他」に含めておりました「保証事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、前連結会計年度より、子会社化したブランネットワークス株式会社の行う「医療BtoB事業」について単独の報告セグメントとして記載する方法に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。